

株式会社小麦家

業種	製造業	事業所所在地	岐阜県各務原市	資本金	10,000千円
				従業員数	50名

 	被承継者（左）		
	吉村 修	65歳	※承継時
	承継者（右）		
	吉村 学	36歳	※承継時

事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2018年	12月	子ども	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
外食（カフェ、レストラン、ホテル）向けのパンの製造および卸売		・新販路の開拓（新たな流通ルートや直販の確立等） 既存先の売上について、今後減少すると予想されており、新たな商品開発および販路開拓が急務となりました。	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 5年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
被承継者の吉村 修が65歳となる時、承継者の吉村 学に承継することを実行の5年前に決意。社員が比較的年齢層が若く、将来性もあり、既存事業もある程度軌道に乗ってきた段階であったため、若手の育成や活躍の場を増やすべく、若手経営者にパトタッチすることを決意しました。	ビジョンの共有に重点を置き、今後の事業展開や方向性、更なる売上の拡大、業績の向上に向けた話し合いを行いました。	事業承継に取り掛かる時点ではある程度の不安要素はありましたが、基本的な業務について、承継者および実務担当者に段階を踏んで共有をしていたため、不安は払拭されました。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	事業承継のスケジュールがある程度決まった時点で、各お得意先、金融機関、役所関係各所には円滑に周知することができました。また、社内においても事前に周知しており、各箇所においての役割を明確化し、	被承継者より、承継以前より経営業務やノウハウ等の共有があり、更に今後の事業計画などの意思疎通もできていたため、あまり不安を感じることなく円滑に承継できたと思います。



これに一番苦労した！

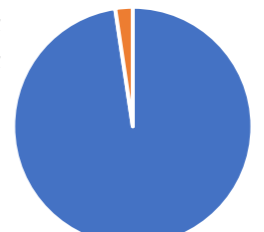
役員退職慰労金の金額の算出について
 創業者であり、36年間会社を守り成長させてきた功績について、承継者、税理士、管理部と慎重に算出を行いました。

事業承継について相談したこと	
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
税理士・税理士法人	・役員退職慰労金の算出 ・各手続きの洗い出しと助言 ・事業承継補助金の提案 ・税制改正等の助言 ・自社株の贈与の助言
いつから相談？	
承継実行の	
相談のきっかけ	
以前から取引やつきあいあり	上記以外においても、トータル的にアドバイスをいただき、安心して承継を行うことができました。

新たな取組の標題

高級冷凍パンの生産性向上および販路開拓

新たな取組の内容	新商品の開発又は生産
<ul style="list-style-type: none"> ●高級冷凍パンブランド【MAISON DE FROMENT】（メゾン ドフロマン）について、新商品の開発を行う。 →最新鋭のオープンを導入し、おいしい冷凍パンの開発を行う。 ●全国の外食産業、ホテル産業などに向けてリサーチを行い、販路開拓を図る。 →冷凍パンカタログの刷新 →首都圏の展示会に出展し、新規顧客の獲得 →生産から発送までの時間短縮や、作業を円滑に行うべく冷凍設備を増強 	
  	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
喫茶文化が盛んである地域柄、当社周辺の外食産業との関係性は強いです。高付加価値な商品の提案は、地域の飲食店舗の活性化に繋がっていると考えています。また、雇用面においては、近隣から通勤する社員・パートが多く、売上の拡大とともに、新たな雇用を創出し、地域経済への貢献を実現しています。	経費の主な使い道 設備費（冷凍庫設備導入費） 外注費（ホームページ制作費）
	
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容	
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案
<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
各種資料の添削および確認、事業実施時のアドバイスをいただきました。	

今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	上記の新たな取り組みについて着実に実行し、岐阜から全国へ美味しいパンを発信し、幸せな食卓をお届けします。また、社内においては生産性の向上、より高付加価値の商品の提案・提供を実践し、更なる売上と利益の向上を目指します。
売上高 40 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
事業承継は勇気がいることですが、いつかは訪れます。信頼のおける最適な後任者（承継者）が育ってきた段階で、ある程度パトンを渡して経営者として成長させ、円滑な承継を進めていただければと思います。	事業承継については各社それぞれの進め方があるかと思いますが、被承継者との情報や方向性の共有はじめ、周囲との強い絆あってこそ成功するのだと感じております。こちらの想いを被承継者や従業員、支援者に伝え、共感し、ともに成長していく心構えで進めることが第一歩だと思います。